

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化財課古代文化センター長 廣江耕史	電話番号	0852-22-6724
----------	--------------------	------	--------------

事務事業の名称	島根の歴史文化活用推進事業		
目的	(1) 対象	県民、国民等	
	(2) 意図	しまねの豊かな歴史文化を、県民、国民に広め、県民には郷土への自信を培ってもらい、県外の人々はしまねの歴史文化の素晴らしさを知ってもらおう。	
事業概要	出雲国風土記連続講座（松江）開催、東京連続講座開催、出雲国風土記シンポジウム開催、隠岐国巡回講座開催、石見国巡回講座開催、古代歴史文化賞実施、古代歴史文化に関する共同調査研究実施、古代出雲文化シンポジウム開催、松江城天守国宝指定記念シンポジウム開催、日本遺産シンポジウム開催など		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	講座・シンポジウム・記念行事参加人数	目標値	6,300.0	6,300.0	6,300.0	6,300.0	人
	式・定義	講座・シンポジウム・記念行事参加人数	取組目標値					
			実績値	6,800.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	65,786	68,235
うち一般財源 (千円)	64,790	67,235

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基いた現状）

古事記1300年や出雲大社大遷宮を契機として国民の古代歴史文化への興味・関心が高まる中、その気運を継続・発展させるため、島根の歴史文化の活用・情報発信のため、以下のような事業を実施した。

- ・東京での出雲国風土記シンポジウムや連続講座の開催
- ・県内に向けた出雲国風土記連続講座や、石見・隠岐の歴史文化に関する巡回講座、ワークショップの開催
- ・奈良県等と連携した第3回「古代歴史文化賞」の開催、古代歴史文化に関する共同調査研究の実施
- ・県外（東京・大阪）及び県内（松江市）での松江城天守国宝指定記念シンポジウムの開催

なお、成果参考指標の平成28年度目標値が平成27年度実績値を下回っているのは、松江城シンポジウムの本数減のため。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

講座やイベント等に積極的に取り組み、多くの県内外の人々にしまねの歴史文化の魅力を知っていただいた。

(H27受講者数)

- 出雲国風土記連続講座（東京・松江市開催）1,520名
- 出雲国風土記シンポジウム（東京開催）1,100名
- 古代文化シンポジウム（益田市開催）170名
- 隠岐国巡回講座・ワークショップ（知夫村・海士町他開催）230名
- 石見国巡回講座・ワークショップ（大田市・邑南町他開催）180名
- 古代歴史文化賞表彰記念行事（東京開催）900名
- 古代歴史文化賞表彰記念行事（松江市開催）500名
- 第1回古代歴史文化協議会講演会（東京開催）430名
- 松江城天守国宝指定記念シンポジウム（東京・大阪・松江市開催）1,780名

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」  
島根の歴史文化の認知度向上を目指して、全国に向けたさらなるPRが必要

②困っている状況が発生している「原因」  
歴史・文化への国民の関心を高めるためには、島根県単独の取り組みでは全国へ十分に浸透しない。

③原因を解消するための「課題」  
島根県単独の取り組みのほか、他県と連携した取り組みにより相乗効果を上げられるよう、他県と調整する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・古代歴史文化賞では、他県でも地元マスコミへの働きかけや書店フェアが行われるよう他県に対して呼びかける。
- ・古代歴史文化に関する共同調査研究では、14県で連携して講演会・シンポジウム・展覧会などを行い全国へ向けて情報発信する。
- ・引き続き、県内外各地でのイベント、講座を開催し、多くの方々に来てもらい、島根の歴史文化の浸透を図る。

9. 追加評価（任意記載）